

第2問

(1) 下記の固定資産台帳（?は各自で計算すること）にもとづいて、当期（X7年4月1日からX8年3月31日まで）における答案用紙の各勘定の空欄にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。減価償却は残存価額をゼロとする定額法で行っており、期中取得の備品の減価償却は月割計算している。なお、入出金はすべて普通預金とする。

解答にあたり、摘要欄の勘定科目等は以下から選択して、ア～クの記号で記入しなさい。また、勘定科目等はこの設問の中で複数回使用してよい。

- ア. 備品 イ. 減価償却費 ウ. 備品減価償却累計額 エ. 普通預金
 オ. 前期繰越 カ. 次期繰越 キ. 損益 ク. 繰越利益剰余金

固定資産台帳（備品）

（単位：円）

取得年月日	名称等	数量	耐用年数	取得原価	期首減価償却累計額	期首帳簿価額	当期減価償却費
X2年4月1日	備品A	1	10年	6,840,000	3,420,000	3,420,000	?
X4年8月1日	備品B	1	6年	3,960,000	?	?	660,000
X7年7月1日	備品C	1	4年	5,400,000	—	—	?
小計				16,200,000	?	?	?